

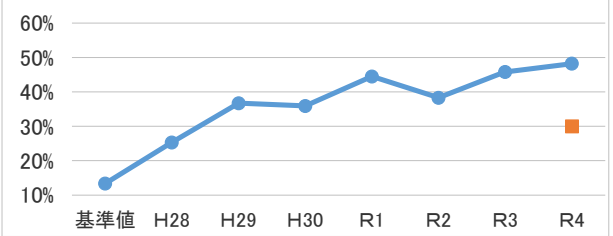
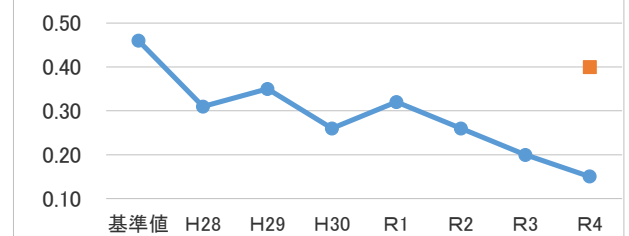
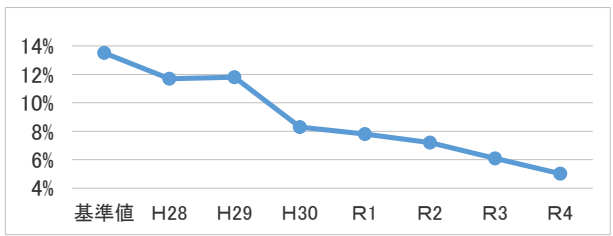
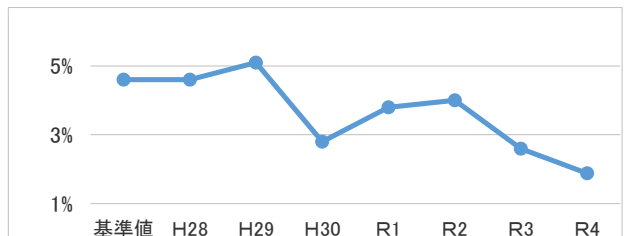
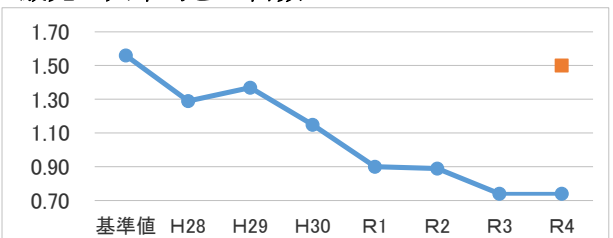
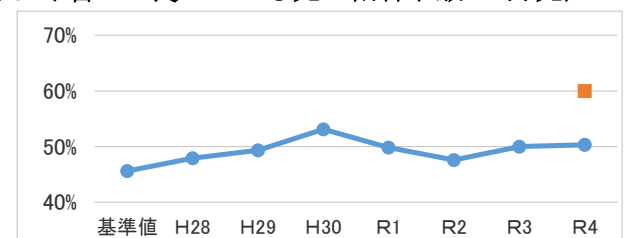
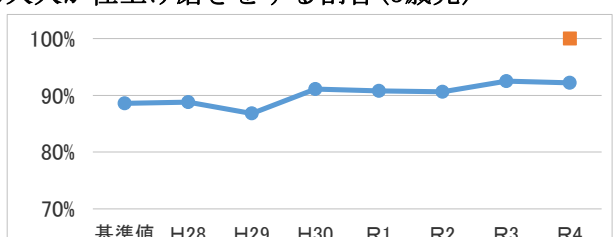
## 令和 4 年度燕市歯科保健計画の評価

健康づくり課

燕市歯科保健計画 指標項目一覧

指標項目	計画策定時基準値	H29年度実績値	H30年度実績値	R元年度実績値	R2年度実績値	R3年度実績値	R4年度実績値	R4年度目標値	評価
<b>育ちざかり（妊婦・0～5歳）</b>									
妊婦歯科健診受診率	13.4%	36.7%	35.9%	44.5%	38.3%	45.8%	48.2%	30%	◎
3歳児一人平均むし歯数	0.46本	0.35本	0.26本	0.32本	0.21本	0.20本	0.15本	0.4本以下	◎
3歳児むし歯有病者率	13.5%	11.8%	8.3%	7.8%	6.2%	6.1%	5.0%	10%以下	◎
むし歯を3本以上持つ3歳児の割合	4.6%	5.1%	2.8%	3.8%	2.3%	2.6%	1.9%	減少	◎
5歳児一人平均むし歯数	1.56本	1.37本	1.15本	0.9本	0.89本	0.74本	0.74本	1.5本以下	◎
よく噛んで食べている児の割合（1歳6か月児）	45.6%	49.3%	53.1%	49.8%	47.6%	50.0%	50.3%	60%	○
大人が仕上げ磨きをする割合（3歳児）	88.6%	86.8%	91.1%	90.8%	90.1%	92.5%	92.2%	100%	○
<b>育ちざかり（6～18歳）</b>									
12歳児一人平均むし歯数	0.28本	0.23本	0.18本	0.23本	0.14本	0.07本	0.07本	減少	◎
小学校児の歯肉炎有病者率	7.1%	9.6%	9.4%	9.6%	4.6%	7.2%	5.9%	7%以下	◎
中学校児の歯肉炎有病者率	23.9%	15.2%	15.3%	13.0%	10.7%	10.2%	6.5%	20%以下	◎
<b>働きざかり（19～64歳）</b>									
自分の歯を有する人（55～64歳）で24本以上の割合	62.4%	61.2%	67.3%	67.5%	調査未実施	77.4%	74.8%	70%以上	◎
現在、歯や口の状態に満足している人（35～44歳）の割合	46.9%	50.4%	53.4%	52.6%		73.4%	52.9%	60%以上	○
定期的に歯科健診を受診している人（35～44歳）の割合	37.5%	44.7%	47.2%	49.6%		58.8%	53.3%	40%以上	◎
歯間部清掃用具を毎日使用している人（35～44歳）の割合	19.3%	22.2%	20.6%	24.3%		38.4%	29.7%	30%以上	○
燕市特定健診等受診者のうち、成人歯科健診や唾液潜血反応検査を受診した人（40～75歳）の割合	19.2%	21.4%	20.1%	23.4%		検査未実施	未実施	20%以上	—
<b>活躍ざかり（65歳以上）</b>									
定期的に歯科健診を受診している人（65～74歳）の割合	52.9%	53.6%	54.1%	56.1%	調査未実施	60.4%	60.7%	60%	◎
お口の体操などの飲み込みにくさを改善する方法を知っている人（65～74歳）の割合	未調査	22.2%	24.4%	28.4%		33.5%	29.7%	30%	○
<b>介護を要する人 障がい者（児）</b>									
かかりつけ歯科医を持つ人の割合（3年ごとに調査を実施。次回はR4年度）	未調査	58.1% (H28年度)	—	64.3%	—	—	83.5%	増加	◎
訪問歯科健診事業を知っている人の割合（3年ごとに調査を実施。次回はR4年度）	未調査	39.1% (H28年度)	—	41.9%	—	—	34.6%	増加	◎
燕・弥彦在宅歯科医療連携室における訪問歯科健診および歯科衛生士訪問数（アセスメント件数）	35件	44件	14件	2件	1件	0件	0件	80件	▼
燕・弥彦在宅歯科医療連携室における専門職に対する口腔ケア実施研修利用件数	6件	7件	5件	3件	1件	1件	0件	10件以上	▼

燕市歯科保健計画 世代別行動目標および指標・目標値

育ちざかり (妊婦・乳幼児0～5歳)	よく噛んで楽しく食べる習慣と歯磨き習慣に親子で取り組む																
行動目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>○保護者が毎日仕上げ磨きをする</li> <li>○おやつの内容や回数を気をつけて食べさせる</li> <li>○よく噛んで食べる習慣をつける</li> <li>○定期的に歯科健診・フッ化物歯面塗布を受ける</li> </ul>																
数値目標の達成状況	◎目標値を達成、○概ね達成(80%以上)、△未達成だが基準値より改善、▼基準値未満 ※基準値は計画策定時【平成26年度】 目標値は【令和4(平成34)年度】																
①妊婦歯科健診受診率  <table border="1" data-bbox="204 817 754 898"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>R4年度</th> <th>目標値</th> <th>達成度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>13.4%</td> <td>45.0%</td> <td>30%</td> <td>◎</td> </tr> </tbody> </table>	基準値	R4年度	目標値	達成度	13.4%	45.0%	30%	◎	②3歳児一人平均むし歯数  <table border="1" data-bbox="887 817 1437 898"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>R4年度</th> <th>目標値</th> <th>達成度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>0.46本</td> <td>0.14本</td> <td>0.4本</td> <td>◎</td> </tr> </tbody> </table>	基準値	R4年度	目標値	達成度	0.46本	0.14本	0.4本	◎
基準値	R4年度	目標値	達成度														
13.4%	45.0%	30%	◎														
基準値	R4年度	目標値	達成度														
0.46本	0.14本	0.4本	◎														
③3歳児むし歯有病率  <table border="1" data-bbox="204 1198 754 1279"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>R4年度</th> <th>目標値</th> <th>達成度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>13.5%</td> <td>5.0%</td> <td>10%以下</td> <td>◎</td> </tr> </tbody> </table>	基準値	R4年度	目標値	達成度	13.5%	5.0%	10%以下	◎	④むし歯を3本以上持つ3歳児  <table border="1" data-bbox="887 1198 1437 1279"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>R4年度</th> <th>目標値</th> <th>達成度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4.6%</td> <td>1.7%</td> <td>減少</td> <td>◎</td> </tr> </tbody> </table>	基準値	R4年度	目標値	達成度	4.6%	1.7%	減少	◎
基準値	R4年度	目標値	達成度														
13.5%	5.0%	10%以下	◎														
基準値	R4年度	目標値	達成度														
4.6%	1.7%	減少	◎														
⑤5歳児一人平均むし歯数  <table border="1" data-bbox="204 1579 754 1659"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>R3年度</th> <th>目標値</th> <th>達成度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1.56本</td> <td>0.74本</td> <td>1.5本以下</td> <td>◎</td> </tr> </tbody> </table>	基準値	R3年度	目標値	達成度	1.56本	0.74本	1.5本以下	◎	⑥よく噛んで食べている児の割合(1歳6か月児)  <table border="1" data-bbox="887 1579 1437 1659"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>R4年度</th> <th>目標値</th> <th>達成度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>45.6%</td> <td>50.6%</td> <td>60%</td> <td>△</td> </tr> </tbody> </table>	基準値	R4年度	目標値	達成度	45.6%	50.6%	60%	△
基準値	R3年度	目標値	達成度														
1.56本	0.74本	1.5本以下	◎														
基準値	R4年度	目標値	達成度														
45.6%	50.6%	60%	△														
⑦大人が仕上げ磨きをする割合(3歳児)  <table border="1" data-bbox="204 1960 754 2040"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>R3年度</th> <th>目標値</th> <th>達成度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>88.6%</td> <td>92.8%</td> <td>100%</td> <td>△</td> </tr> </tbody> </table>	基準値	R3年度	目標値	達成度	88.6%	92.8%	100%	△	<課題と今後の方向性>  定期的な歯科健診・フッ化物歯面塗布と歯科保健指導により、むし歯有病率や一人平均むし歯数、複数本むし歯をもつ児の数は減少しています。保護者への意識付けと望ましい生活習慣の定着に向けて、個に合わせた指導の継続に取り組んでいきます。								
基準値	R3年度	目標値	達成度														
88.6%	92.8%	100%	△														

令和4年度 燕市歯科保健計画 重点的取り組み(事業)の実施状況・評価票

【育ちざかり(妊婦・乳幼児0～5歳)】

重点的取り組み		妊婦歯科健診の継続実施と拡充	
該当する事業		①妊婦歯科健診 【参考資料3】	
		②妊婦学級(歯の健康)	
担当課	健康づくり課	関係機関	燕歯科医師会・在宅歯科衛生士会
実施状況	内容	①妊婦を対象に、協力歯科医療機関で個別歯科健診の実施(問診、口腔内検査、歯科保健指導)	
		②令和2年度より新型コロナウイルス感染拡大防止のため少人数・短時間での実施となり、歯科衛生士による集団での衛生教育は未実施	
	取組み	①母子健康手帳交付の際に歯科健診受診票を交付し、妊婦・両親学級や助産師訪問等機会を捉え、受診勧奨している。	
		②栄養の講話の中で妊娠期から乳幼児の歯の健康にも触れ、妊婦歯科健診未受診の場合には受診勧奨している。	
	成果と課題	①近年は受診率は45%前後を維持している。妊婦歯科健診が久しぶりの歯科受診となることも多く、受診者の9割以上に所見がみられている。妊婦医療費助成を活用しての早期治療やセルフケアの継続に繋がっていくよう、妊娠届出時や助産師訪問の機会に妊婦健診の受診を促していく。	
		②妊婦歯科健診の受診とともに自分の歯、子どもの歯を考えるきっかけとなるため、適切な時期に受診や治療につながるよう、教室の場でも妊婦歯科健診の受診を促していく。	
今後の取り組みと方向性		継続	今後も受診率向上のため、受診票交付時、助産師訪問、妊婦・両親学級などで受診勧奨を継続

重点的取り組み		歯科健診の受診しやすい体制づくり	
該当する事業		幼児歯科健診 【参考資料3】	
担当課	健康づくり課	関係機関	燕歯科医師会・在宅歯科衛生士会
実施状況	内容	令和4年度も2歳6か月児歯科健診は個別健診(医療機関委託)、1歳児・1歳6か月児・2歳児・3歳児は集団健診で実施(歯科健診・フッ化物歯面塗布・歯科保健指導)	
	取組み	集団健診ではフッ化物歯面塗布の際に歯科衛生士による個別指導を実施し、むし歯がある場合は受診勧奨を行っている。2歳歯科健診時には、2歳6か月児歯科健診が医療機関での健診であること、定期的なフッ化物歯面塗布の効果を周知し、受診率向上を図っている。	
	成果と課題	1歳6か月児・3歳児の健診受診率は97%を超えている。3歳児健診のむし歯有病者率は年々減少しており、定期的な歯科健診・フッ化物歯面塗布の効果が表れている。令和2年度に一部健診を医療機関委託で実施したことで、結果に応じて歯科医院での経過観察・治療に繋がりが、その後も医療機関での定期的なフッ化物歯面塗布を行っている児が増えた。現在も2歳6か月児健診は医療機関委託で実施しており、かかりつけ歯科医を持つことにも繋がっている。むし歯を複数本持つ児には要対協事例や保護者の育児能力が低い児も含まれている。	
今後の取り組みと方向性		継続	むし歯を複数本もつ児の生活背景にも考慮しながら、個別指導強化に生かしていく。

令和4年度 燕市歯科保健計画 重点的取り組み(事業)の実施状況・評価票

【育ちざかり(妊婦・乳幼児0～5歳)】

重点的取り組み		園での歯科健診の継続実施、事後指導の強化	
該当する事業		園での歯科健診	
担当課	子育て支援課	関係機関	燕歯科医師会・幼稚園・保育園・こども園
実施状況	内容	年2回、各園で集団歯科健診の実施 歯科健診結果報告通知の発行、受診勧奨および受診結果の把握	
	取組み	令和4年度は例年通り2回実施。歯科健診結果報告通知で受診・治療の状況を把握している。治療が必要な児が早めに受診につながるよう、園だよりや個別の声掛けで勧奨している。	
	成果と課題	歯科健診結果報告通知を更新して以降、受診結果の把握が確実となり、返却率も100%に近い。完治の報告も増えている。	
今後の取り組みと方向性		継続 未受診者ゼロを目指し、取り組みの継続	

重点的取り組み		むし歯予防教室の継続実施	
該当する事業		①むし歯予防教室 ②歯みがき講座	
担当課	①健康づくり課 ②子育て支援課	関係機関	在宅歯科衛生士会・幼稚園・保育園・こども園 在宅歯科衛生士会・子育て支援センター
実施状況	内容	①歯科衛生士による健康教育を市内8か所の園で実施 ②新型コロナウイルス感染拡大防止のため未実施。	
	取組み	①講話のみ実施。歯みがきの仕方・噛むことの大切さ・ジュース中に含まれる砂糖の量や虫歯になりにくい食べ物等について、紙芝居や模型等を使ってわかりやすく説明をしている。	
	成果と課題	①歯磨きと共に食の大切さについても講話していただき、改めて丁寧な歯磨きの大切さを実感した。 ②新型コロナウイルスの感染状況を考慮し、次年度以降の実施について検討していく必要がある。	
今後の取り組みと方向性		継続 継続実施していく	

令和4年度 燕市歯科保健計画 重点的取り組み(事業)の実施状況・評価票

【育ちざかり(妊婦・乳幼児0～5歳)】

重点的取り組み		フッ化物洗口事業の継続実施	
該当する事業		フッ化物洗口 【参考資料4】	
担当課	健康づくり課	関係機関	幼稚園・保育園・こども園
実施状況	内容	週2回、幼稚園・保育園・こども園でフッ化物洗口の実施	
	取組み	年中組4歳児よりフッ化物洗口を実施している	
	成果と課題	市内全園で実施し、実施率も98%以上と高い。幼児期からフッ化物を利用したむし歯予防が継続できる環境が整備されている。	
今後の取り組みと方向性		継続 園(年中)から中学校卒業まで継続実施	

重点的取り組み		よく噛む習慣が定着するような指導の強化	
該当する事業		①離乳食相談会 ②噛み応えのある給食メニュー	
担当課	①健康づくり課	関係機関	①食生活改善推進委員
	②子育て支援課		②幼稚園・保育園・こども園
実施状況	内容	①新型コロナウイルス感染拡大防止のため集団での離乳食相談会を休止していたが、令和4年度より「離乳食座談会」として少人数で再開した。その他、予約制育児相談会やオンライン子育て相談、オンライン離乳食グループ相談会でも継続して離乳食相談を行っている。市ホームページにて離乳食動画も配信している。	
		②給食等で「よく噛む」ことの指導	
	取組み	①予約制育児相談会やオンライン子育て相談、8か月から12か月児を対象に実施している離乳食座談会で噛むことの大切さを伝え、よく噛むメニューの提案を行なっている。	
②よく噛まずに飲み込む児には、ゆっくりとよく噛んで食べるように伝えている。			
成果と課題	①令和4年度より予約制育児相談会と合わせ月1回離乳食座談会を実施。12月末までで延べ31組の利用があった。オンライン子育て相談での離乳食相談時にもよく噛む習慣にむけた指導を実施している。離乳食動画は現在までに計2500回程度視聴されている。「よく噛んで食べている児」の1歳6か月児健診での割合は50%前後で横ばいであるが、3歳児健診では70%前後と増加しており、今後も機会を捉え、個に合わせた指導を継続して行っていく。		
	②よく噛むことが定着するためには、継続して伝えていくことが必要。保護者にも園だよりなどを通して噛むことの大切さ(顎の発達、味覚・脳の発達を促す、丈夫な歯をつくる等)について知らせていく。		
今後の取り組みと方向性		継続 食事とむし歯予防を関連づけた取り組みの継続	

令和4年度 燕市歯科保健計画 重点的取り組み(事業)の実施状況・評価票

【育ちざかり(妊婦・乳幼児0～5歳)】

重点的取り組み		歯の衛生が保たれない場合、 ネグレクト等も考慮した関わり、関係機関との連携	
該当する事業			
担当課	子育て支援課	関係機関	幼稚園・保育園・こども園
実施状況	内容	必要時、関係機関と連携し、対応する	
	取組み	受診勧奨しても未受診等気になる家庭は必要時、社会福祉課へ相談し、対応策を検討している。	
	成果と課題	過去に対象を取り巻く環境を考慮した個別の関わりで受診勧奨をしたところ、歯科治療が開始された事例あり。	
今後の取り組みと方向性		継続	

燕市歯科保健計画 世代別行動目標および指標・目標値

<p>育ちざかり (児童・生徒6～18歳)</p>	<p>歯や口腔を守る食習慣や生活習慣を知り、自ら実践する</p>																
<p>行動目標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○親子で歯磨きの習慣をつける</li> <li>○自分の歯や口腔に関心を持ち、歯を丈夫にする方法を学び、実践する</li> <li>○歯肉炎やむし歯になったら早めに受診する</li> <li>○歯やからだの健康を考えた食事やおやつ摂り方の工夫をする</li> </ul>																	
<p>数値目標の達成状況</p> <p>◎目標値を達成、○概ね達成(80%以上)、△未達成だが基準値より改善、▼基準値未満 ※基準値は計画策定時【平成26年度】 目標値は【令和4(平成34)年度】</p>																	
<p>①12歳児一人平均むし歯数</p> <table border="1" data-bbox="204 815 756 900"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>R3年度</th> <th>目標値</th> <th>達成度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>0.28本</td> <td>0.07本</td> <td>減少</td> <td>◎</td> </tr> </tbody> </table>	基準値	R3年度	目標値	達成度	0.28本	0.07本	減少	◎	<p>②小学校児の歯肉炎有病者率</p> <table border="1" data-bbox="887 815 1439 900"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>R3年度</th> <th>目標値</th> <th>達成度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>7.1%</td> <td>7.2%</td> <td>7%以下</td> <td>▼</td> </tr> </tbody> </table>	基準値	R3年度	目標値	達成度	7.1%	7.2%	7%以下	▼
基準値	R3年度	目標値	達成度														
0.28本	0.07本	減少	◎														
基準値	R3年度	目標値	達成度														
7.1%	7.2%	7%以下	▼														
<p>③中学校児の歯肉炎有病者率</p> <table border="1" data-bbox="204 1200 756 1285"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>R3年度</th> <th>目標値</th> <th>達成度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>23.9%</td> <td>10.2%</td> <td>20%以下</td> <td>◎</td> </tr> </tbody> </table>	基準値	R3年度	目標値	達成度	23.9%	10.2%	20%以下	◎	<p>&lt;課題と今後の方向性&gt;</p> <p>小学校・中学校の歯肉炎有病者率は共に減少傾向にあります。12歳児一人平均むし歯数も減少しておりフッ化物洗口の効果もみられています。幼児期からの望ましい生活習慣の定着に加え、児童・生徒がセルフケアの方法を取得し継続して取り組んでいけるよう継続して取り組んでいきます。</p>								
基準値	R3年度	目標値	達成度														
23.9%	10.2%	20%以下	◎														



令和4年度 燕市歯科保健計画 重点的取り組み(事業)の実施状況・評価票

【育ちざかり(児童・生徒6～18歳)】

重点的取り組み		既存事業を活用した高校生向け歯周病予防の啓発	
該当する事業		赤ちゃん交流会	
担当課	健康づくり課	関係機関	県立吉田高校・児童館
実施状況	内容	新型コロナウイルス感染拡大防止のため実施せず	
	取組み		
	成果と課題	現状では本事業の実施は困難であり、新規の事業立ち上げも難しい状況。既存の取り組み(食生活改善推進委員の活動等)で機会を捉えて「歯」の健康教育を取り入れていく。	
今後の取り組みと方向性		継続	既存の事業を利用し実施

重点的取り組み		むし歯歯周病予防教室の継続実施	
該当する事業		むし歯・歯周病予防教室 【参考資料5】	
担当課	学校教育課	関係機関	在宅歯科衛生士会・小学校・中学校
実施状況	内容	各学校で毎年1回、歯科衛生士による歯みがき指導の実施	
	取組み	養護教諭と歯科衛生士とで事前打ち合わせをし、対象(学校や学年)に応じた内容を取り入れている。新型コロナの影響により日程延期となった場合も、学校と歯科衛生士会とで再度日程調整を行い実施している。	
	成果と課題	【学校教育課】歯みがき状況を教室前後で比較すると、指導の効果を実感できる。学齢期には学校でも自ら歯磨きをするが、とくに低学年は上手に歯みがきをすることが難しい場合も多く、磨き方指導が重要である。幼児期からの歯みがき指導や啓発を継続するためにも今後も重要である。 【小・中学校】歯科衛生士から、各学年の発達の段階に合わせた適切な指導を受けることは、とても重要な機会と捉えている。さらに、指導内容をたよりや子どもたちの声等で保護者に返すことで、家庭の口腔衛生に対する意識向上に繋がっている。今後も歯科衛生士の協力を重点に置き、家庭と連携しながら指導を継続していく。	
今後の取り組みと方向性		継続	むし歯・歯肉炎予防のため、児童・生徒の口腔ケアの定着および、家庭への啓発普及の継続

令和4年度 燕市歯科保健計画 重点的取り組み(事業)の実施状況・評価票

【育ちざかり(児童・生徒6～18歳)】

重点的取り組み		フッ化物洗口事業の継続実施	
該当する事業		フッ化物洗口 【参考資料4】	
担当課	健康づくり課	関係機関	小学校・中学校
実施状況	内容	週1回、学校でフッ化物洗口を実施	
	取組み	市内全小中学校で実施しており、フッ化物洗口の希望の有無は入学時に把握し、その意向を卒業まで継続する扱いとしている。	
	成果と課題	小中学校だけでなく、市内各園も含めての施設実施率は100%である。フッ化物洗口希望率も97%以上と高い。12歳児一人平均むし歯数は年々減少しており、歯質の強化にもつながっていると考えられる。フッ化物を利用したむし歯予防を継続して受けることのできる環境が整っている。	
今後の取り組みと方向性		継続 園（年中）から中学卒業まで継続実施	

## 燕市歯科保健計画 世代別行動目標および指標・目標値

<b>働きざかり (19～64歳)</b>	<b>歯や口腔を自分で守る食習慣や生活習慣の継続と、 かかりつけ医でのセルフケアチェックを定着する</b>																
行動目標	○歯の健康が全身の健康に影響することを理解する ○定期的に歯科受診をし、専門的な口腔ケアを受ける ○セルフケアの大切さを理解し、自身の健康維持や8020達成のために行動する																
数値目標の達成状況	◎目標値を達成、○概ね達成(80%以上)、△未達成だが基準値より改善、▼基準値未満 ※基準値は計画策定時【平成26年度】 目標値は【令和4(平成34)年度】																
<b>①自分の歯を有する人(55～64歳)で24本以上の割合</b>	<b>②現在、歯や口の状態に満足している人(35～44歳)の割合</b>																
<table border="1" style="width: 100%; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>R4年度</th> <th>目標値</th> <th>達成度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>62.4%</td> <td>74.8%</td> <td>70%以上</td> <td>◎</td> </tr> </tbody> </table>	基準値	R4年度	目標値	達成度	62.4%	74.8%	70%以上	◎	<table border="1" style="width: 100%; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>R4年度</th> <th>目標値</th> <th>達成度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>46.9%</td> <td>52.9%</td> <td>60%以上</td> <td>△</td> </tr> </tbody> </table>	基準値	R4年度	目標値	達成度	46.9%	52.9%	60%以上	△
基準値	R4年度	目標値	達成度														
62.4%	74.8%	70%以上	◎														
基準値	R4年度	目標値	達成度														
46.9%	52.9%	60%以上	△														
<b>③定期的に歯科健診を受診している人(35～44歳)の割合</b>	<b>④歯間部清掃用具を毎日使用している人(35～44歳)の割合</b>																
<table border="1" style="width: 100%; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>R4年度</th> <th>目標値</th> <th>達成度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>37.5%</td> <td>53.3%</td> <td>40%以上</td> <td>◎</td> </tr> </tbody> </table>	基準値	R4年度	目標値	達成度	37.5%	53.3%	40%以上	◎	<table border="1" style="width: 100%; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>R4年度</th> <th>目標値</th> <th>達成度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>19.3%</td> <td>29.7%</td> <td>30%以上</td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table>	基準値	R4年度	目標値	達成度	19.3%	29.7%	30%以上	○
基準値	R4年度	目標値	達成度														
37.5%	53.3%	40%以上	◎														
基準値	R4年度	目標値	達成度														
19.3%	29.7%	30%以上	○														
<b>⑤燕市特定健診等受診者のうち 成人歯科健診や唾液潜血反応検査を受診した人 (40～74歳)の割合 ※2</b>	<課題と今後の方向性>																
<table border="1" style="width: 100%; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>R元年度</th> <th>目標値</th> <th>達成度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>19.2%</td> <td>23.4%</td> <td>20%以上</td> <td>◎</td> </tr> </tbody> </table>	基準値	R元年度	目標値	達成度	19.2%	23.4%	20%以上	◎	若い世代の歯間部清掃用具の使用や定期健診をしている割合は基準値と比較し増加しています。今後も8020の達成に向けて定期受診やセルフケア定着に繋がるよう、保健事業や職域との連携を継続していきます。今後も若い世代に向け、さまざまな切り口からの意識づけを行なっていきます。  ①～④の指標についてはR2年度調査未実施 ⑤唾液潜血反応検査はR2～4年度事業未実施								
基準値	R元年度	目標値	達成度														
19.2%	23.4%	20%以上	◎														

令和4年度 燕市歯科保健計画 重点的取り組み(事業)の実施状況・評価票

【働きざかり(19～64歳)】

重点的取り組み		成人歯科健診の強化(重点的に節目検診取組む)	
該当する事業		①歯周疾患検診 【参考資料6】	
		②唾液潜血反応検査	
		③3歳児健診受診児保護者の歯科健診	
担当課	健康づくり課	関係機関	燕歯科医師会・在宅歯科衛生士会
実施状況	内容	①40歳・50歳・60歳・70歳を対象に、協力歯科医療機関で個別歯科健診の実施(問診、口腔内検査、歯科保健指導)	
		②令和2年度より新型コロナウイルス感染拡大防止のため未実施。	
	取組み	③令和2年度より新型コロナウイルス感染拡大防止のため未実施。	
①対象者に受診票を個別通知している。協力歯科医療機関へのポスター掲示で事業の周知をするとともに、より多くの方が受診に繋がるよう、令和2年度より受診勧奨チラシを案内に同封している。			
成果と課題		②令和3年度より、健診結果でHbA1c6.0%以上で口腔該当項目のある方を優先に電話で状況を確認、歯科医への受診勧奨や節目年齢の方には歯周疾患検診の受診勧奨を行っている。	
		①受診率は近年10%前後で推移している。歯周疾患検診受診者の半数以上が「定期歯科受診をしていない」と回答しており、歯周疾患検診が歯科受診のきっかけとなっている。今後も歯周疾患検診受診率向上にむけ、受診勧奨チラシの見直しも行いながら取り組みを継続していく。	
		②今年度は対象となった56人中32人に関わることができた。口腔状態が悪いことで食事内容が糖質に偏り、HbA1c高値に繋がっているケースもあった。歯周疾患検診の活用を狙い、来年度も節目年齢の受診者への働きかけを早期に行っていく。	
今後の取り組みと方向性		③幼児健診時に子どもだけでなく、保護者に対しても歯周疾患予防に関する啓発を行い、意識づけを行っていく。	
		継続	歯周疾患検診の受診率向上にむけた取り組みと、歯周疾患予防と生活習慣病予防を関連づけた取り組みを継続して実施していく。

令和4年度 燕市歯科保健計画 重点的取り組み(事業)の実施状況・評価票

【働きざかり(19～64歳)】

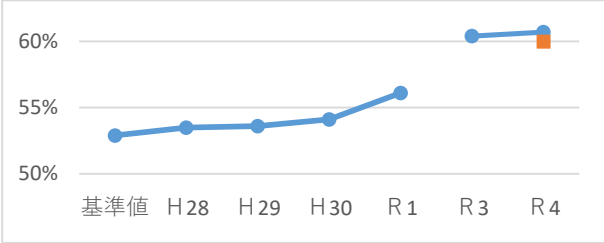
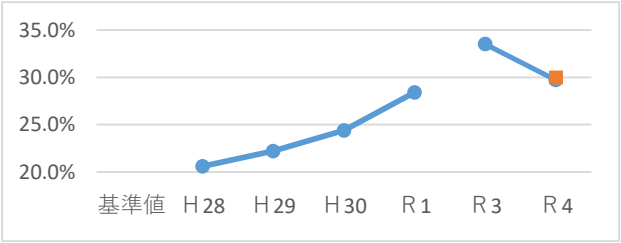
重点的取り組み		歯の健康についての啓発普及の拡充	
該当する事業		①歯の健康川柳	
		②各種教室等	
担当課	健康づくり課	関係機関	①燕歯科医師会
			②保健推進委員・食生活改善推進委員
実施状況	内容	①「歯の健康川柳」を募集し、市長や歯科医師会長が選考した句を広報・ホームページに掲載し表彰している	
		②歯に関する内容も盛り込んだ健康づくり教室等の企画実施	
	取組み	①周知は広報・市ホームページで行い、郵送・FAX・かんたん申請で応募	
②保健推進委員・食生活改善推進委員の地域での活動として、歯科衛生士による出前講座を実施した。またさまざまな教室でベジ足しリーフレットを配布・活用し、よく噛むメニューの提案を行っている			
成果と課題	①令和4年度は91句の応募があり、入選作品は広報やホームページで発表し、歯っぴーフェアで表彰式を行なった。幅広い年代の方から応募があり、歯やお口の健康を考えるきっかけになっている。		
	②地区での活動や既存の事業の機会を捉え、歯科保健の内容を絡めながら啓発を行っている。		
今後の取り組みと方向性		継続	

令和4年度 燕市歯科保健計画 重点的取り組み(事業)の実施状況・評価票

【働きざかり(19～64歳)】

重点的取り組み		歯の健康に関心を持つ企業を増やす啓発	
該当する事業		①職域健診	
		②つばめ元気かがやきポイント事業	
		③職場での歯科健診(パナソニック健保での取り組み) 【参考資料7】	
担当課	健康づくり課	関係機関	燕 吉田 分水商工会・企業・三条保健所
実施状況	内容	①職域健診にて、歯の健康づくりの啓発普及	
		②健康づくりスタート企業・団体の募集及び社員の健康づくりの応援	
		③30～65歳までの5歳刻み年齢を対象に歯科健診、保健指導の実施 年2回健保イベント「歯みがきチャレンジ」への参加	
実施状況	取組み	①今年度も新型コロナウイルス感染拡大防止のため実施せず。	
		②市と協働し健康づくりを推進する企業・団体を募集している。	
		③・無料歯科健診の実施、該当年齢以外の希望者は自己負担にて実施 ・「歯みがきチャレンジ」への参加促しと歯科保健情報の提供(Web掲示板)	
実施状況	成果と課題	①会場での直接の声掛けが困難な場合、リーフレットの配布や掲示物等での定期受診や口腔ケア定着に向けたアプローチを検討していく。また、商工会発行のお便り等を通してアプローチができるか等、方法を検討していく。	
		②スタート企業や団体は年々増えている。職場や団体全体で健康づくりの一環として、元気かがやきポイント事業に取り組むことで、歯に関する健康行動の定着も期待できる。	
		③・該当年齢以外(自己負担あり)で12名の希望があった ・コロナ感染等の影響による当日欠席が増加した ・健診担当歯科医師より、受診した社員は、必要時に歯科医院へ通院しており歯の状態も比較的良いと評価いただいた ・健診案内への回答がない社員と健康格差が生じている恐れがある	
今後の取り組みと方向性		継続	歯科健診に関する制度の啓発により定期歯科健診の受診者増を図っていく(パナソニック健保では、交替勤務などの業務都合で受診できなかった社員へ、インセンティブを含めたアプローチの方法を検討していく)。

## 燕市歯科保健計画 世代別行動目標および指標・目標値

<b>活躍ざかり (65歳以上)</b>	<b>定期歯科健診と嚙下体操で食べる楽しみがいつまでも持てる</b>																
行動目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>○歯の健康が全身の健康に影響することを理解する</li> <li>○定期的に歯科受診をし、専門的な口腔ケアを受ける</li> <li>○セルフケアの大切さを理解し、自身の健康維持や8020達成にむけて行動する</li> <li>○嚙下体操を実施し、飲み込みなど改善することを実感する</li> </ul>																
数値目標の達成状況	◎目標値を達成、○概ね達成(80%以上)、△未達成だが基準値より改善、▼基準値未満 ※基準値は計画策定時【平成26年度】 目標値は【令和4(平成34)年度】																
①定期的に歯科健診を受診している人(65～74歳)の割合	②お口の体操などの見込みにくさを改善する方法があることを知っている人(65～74歳)の割合																
 <table border="1" style="margin-top: 10px; width: 100%; text-align: center; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>R4年度</th> <th>目標値</th> <th>達成度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>52.9%</td> <td>60.7%</td> <td>60.0%</td> <td>◎</td> </tr> </tbody> </table>	基準値	R4年度	目標値	達成度	52.9%	60.7%	60.0%	◎	 <table border="1" style="margin-top: 10px; width: 100%; text-align: center; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>R4年度</th> <th>目標値</th> <th>達成度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>未調査</td> <td>29.7%</td> <td>30%</td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table>	基準値	R4年度	目標値	達成度	未調査	29.7%	30%	○
基準値	R4年度	目標値	達成度														
52.9%	60.7%	60.0%	◎														
基準値	R4年度	目標値	達成度														
未調査	29.7%	30%	○														
<課題と今後の方向性> 改善傾向にあります。令和3年度より保健事業と介護予防の一体化事業の取組みとして、地域のサロンでも歯科衛生士による健康教育を実施し、セルフケアやお口の体操について周知・意識づけする機会を設けています。今後も関係機関と連携を図りながら、お口の健康を切り口に健康づくりの取り組みを推進していきます。  ①②の指標についてはR2年度調査未実施																	

令和4年度 燕市歯科保健計画 重点的取り組み(事業)の実施状況・評価票

【活躍ざかり(65歳以上)】

重点的取り組み		口腔ケアの重要性を情報提供	
該当する事業		地域のサロン活動	
担当課	長寿福祉課	関係機関	社会福祉協議会・在宅歯科医療連携室
実施状況	内容	サロン等高齢者の集まる機会を捉え、歯科衛生士による「歯の健康出前講座(口腔ケアの重要性について情報提供)」の実施	
	取組み	サロン代表者へ「歯の健康出前講座」を周知(希望者は直接歯科医師会へ申し込み)	
	成果と課題	申し込み 2件	
今後の取り組みと方向性		継続	今後もサロン代表者に歯の健康出前講座を周知し、口腔ケアの重要性について関心を持ってもらえるよう情報提供を行っていく。

重点的取り組み		介護予防事業と連携した口腔ケアの啓発強化	
該当する事業		健康教室(短期集中型通所・訪問型サービスC) 【参考資料8】	
担当課	長寿福祉課	関係機関	各地区福祉会・在宅歯科医療連携室
実施状況	内容	65歳以上で基本チェックリストに該当し、参加意向がある者を対象に、生活機能改善のための運動・口腔機能向上の複合プログラムを実施	
	取組み	通所型では、週1回・全18回のうち、歯科衛生士等が口腔指導を3回実施している。市内5つの事業所に委託。 訪問型では、週1回、専門職が自宅を訪問し、3か月間集中的に運動・栄養・口腔のケアを実施。口腔ケアが必要な人には、歯科衛生士が訪問している。	
	成果と課題	教室内でお口の体操など行うことで、終了後もセルフケアの継続につながっている。訪問型は希望者が少なく、アプローチのしかたなど検討が必要。	
今後の取り組みと方向性		継続	



令和4年度 燕市歯科保健計画 重点的取り組み(事業)の実施状況・評価票

【活躍ざかり(65歳以上)】

重点的取り組み		後期高齢者歯科健診の実施	
該当する事業		長寿歯科健診 【参考資料9】	
担当課	保険年金課	関係機関	燕歯科医師会
実施状況	内容	76歳・80歳を対象に、協力歯科医療機関で個別歯科健診の実施(歯・口腔衛生・咬合状態の確認、歯周疾患の有無、嚥下機能チェック)	
	取組み	対象者に受診票を個別通知し、受診勧奨している。	
	成果と課題	令和4年度は215名(12/27現在)が受診しているが、9月の受診者数は令和3年度と比較して増加したものの、新型コロナウイルス感染症の新規感染者が10月以降増加傾向となった影響により、受診率は減少(R3:12.9%→R4:11.4%)している。 口腔機能の低下により介入が必要と思われる方を抽出し健康教室につなげるなど、長寿福祉課や地域包括支援センターと連携して対応する必要がある。	
今後の取り組みと方向性		継続	

重点的取り組み		口腔ケアの重要性を情報提供	
該当する事業		人生100年時代の健康サポート事業【参考資料10】	
担当課	健康づくり課	関係機関	燕歯科医師会・在宅歯科医療連携室
実施状況	内容	国保データベースを活用し把握した地域の健康課題に対し、個別的支援や通いの場等への関与を通して、課題解決に向けた支援を行う。そのうちの低栄養・口腔保健対策として笑顔の宅配プロジェクト、「通いの場」でのオーラルフレイル対策の啓発を行う。	
	取組み	【笑顔の宅配プロジェクト】燕地区の75歳以上を対象として実施した。歯科衛生士と地区ボランティアが高齢者宅に訪問し、お口の体操の紹介等をしながら口腔機能の維持・向上を図った。事前訪問を行い、指導の対象となった6名に、1名につき3回の訪問を実施し、お口の体操・口腔ケア・介護予防事業への参加を促していく。また、これまでの取り組みについて、令和4年11月19日に塩尻市で開催された口腔衛生学会の地方会(甲信越北陸口腔保健研究会)で発表した。 【「通いの場」でのオーラルフレイル対策】サロン等の参加者に対し、歯科衛生士による歯科保健指導を実施。お口の体操や媒体を活用したブラッシング指導、歯科定期受診の大切さ等の啓発を行った。	
	成果と課題	【笑顔の宅配プロジェクト】このプロジェクトでの関わりが口腔のお手入れの大切さを再確認するきっかけとなった。また3か月間の関わり・家庭での継続した取り組みにより、噛む力の向上や滑舌の改善などの効果が表れている。プロジェクト利用者にとっては個別指導の効果が表れているが、利用人数が伸びない現状がある。次年度の実施方法等について、検討していく必要がある。 【「通いの場」でのオーラルフレイル対策】実技を交えながらの指導がわかりやすく、参加者に好評であった。	
今後の取り組みと方向性		継続	

# 燕市歯科保健計画 世代別行動目標および指標・目標値

介護を要する人・障がい者(児)	口腔ケアの実施と治療を受けやすい環境をつくり、食生活に満足できる
-----------------	----------------------------------

行動目標 ○介護に関わる人が適切な口腔ケア等を必要な人に実施できるよう、技術を習得する  
○治療を受けたい人が受けられる体制を整える

数値目標の達成状況	◎目標値を達成、○概ね達成(80%以上)、△未達成だが基準値より改善、▼基準値未満 ※基準値は計画策定時【平成26年度】 目標値は【令和4(平成34)年度】
-----------	---

①かかりつけ歯科医を持つ人の割合

基準値	R元年度	目標値	達成度
未調査	64.3%	増加	◎

(3年毎に調査を実施、次回調査は令和4年度予定)

②訪問歯科健診事業を知っている人の割合

基準値	R元年度	目標値	達成度
未調査	41.9%	増加	◎

(3年毎に調査を実施、次回調査は令和4年度予定)

③燕・弥彦在宅歯科医療連携室における訪問歯科健診および歯科衛生士訪問数

基準値	R3年度	目標値	達成度
35件	0件	80件	▼

④燕・弥彦在宅歯科医療連携室における専門職に対する口腔ケア実施研修利用件数

基準値	R3年度	目標値	達成度
6件	1件	10件以上	▼

<課題と今後の方向性>  
引き続き、関係機関と連携を取りながら事業の周知・利用を勧め、必要な方がサービスの利用につながるよう取り組みを推進していきます。

令和4年度 燕市歯科保健計画 重点的取り組み(事業)の実施状況・評価票

【介護を要する人・障がい者(児)】

重点的取り組み		訪問歯科健診事業の周知強化	
該当する事業		①訪問歯科健診事業 (実施主体：新潟県)	
		②歯っぴー相談 【参考資料8】	
担当課	長寿福祉課	関係機関	在宅歯科医療連携室・三条保健所
実施状況	内容	②在宅要介護者等に対し、口腔機能の向上、要介護状態の悪化を防ぐことを目的とした訪問歯科相談(無料)の実施	
	取組み	「在宅要介護者等歯科保健推進事業実施要領」の一部改正(令和元年8月1日)により、対象者要件が変更となった。これに伴い、燕市からは在宅要介護3以上の方を対象に、介護保険証発送時に在宅歯科医療連携室の無料歯科相談について周知いただいている。 ※保健所実績：令和3年度0件、令和4年度0件(11月末現在)	
		②平成31年度の県主催事業終了を受け、事業名を歯っぴー相談と変更した。要介護2以下から初めて要介護3になった方を対象に、介護保険証発送時に在宅歯科医療連携室の無料歯科相談を案内周知すると同時に、担当ケアマネにも連絡をし、利用を勧めている。	
成果と課題	①対象者要件の変更に伴い、訪問歯科健診の実績は減少したが、要介護者等から相談があった場合は、在宅歯科医療連携室の無料歯科相談を紹介することとし、相談体制は継続する。 ②新規要介護3認定者は横ばいではあるが、申し込み者数は微減傾向にある。訪問歯科健診事業と同様に在宅歯科医療連携室の協力を得ながら、実施していく。		
今後の取り組みと方向性	継続		

令和4年度 燕市歯科保健計画 重点的取り組み(事業)の実施状況・評価票

【介護を要する人・障がい者(児)】

重点的取り組み		福祉の手続きの際に歯科相談窓口の周知強化	
該当する事業		①在宅重度障がい児(者)の歯科保健推進事業	
		②歯科相談窓口の周知	
担当課	(社会福祉課)	関係機関	在宅歯科医療連携室・三条保健所
実施状況	内容	①在宅重度障がい児(者)が身近な地域で歯科的支援を受けられる体制整備 ②障害者手帳・療育手帳交付時等に、在宅重度障がい児者の歯科相談や訪問歯科診療・口腔ケアの窓口等の周知	
	取組み	①今年度は、三条保健所管内の他市町村等の状況等を把握し、次年度に向け検討していきたい。 ①市内の相談支援専門員が集まる機会を捉えて制度を周知するとともに、事業所のできる範囲での口腔内観察について協力依頼。 ②県から配布されたPRチラシを市役所窓口に設置。 ③障害者手帳・療育手帳交付時等に配布する「障がい者福祉のしおり」に訪問歯科診療・口腔ケアの利用について掲載。	
	成果と課題	② ・新潟県作成のPRチラシの市役所窓口設置、燕市作成の「障がい者福祉のしおり」への掲載に加え、対象児(者)との関わりが多い相談支援専門員からの働きかけにより、歯科相談等の利用につながっている。 ・相談支援専門員に対しては「市内相談支援機関連絡会」などの機会を捉えて周知を実施している。 ・訪問歯科検診・治療が必要な障がい児者を診察につなげるため、燕市歯科医師会、三条地域振興局(県)が開催する「在宅重度障がい児(者)の歯科保健の推進に関する意見交換会」において、引き続き相談事例などを障害福祉サービス事業所や相談支援専門員と情報共有する必要がある。	
今後の取り組みと方向性		継続	

## 燕市歯科保健計画 世代別行動目標および指標・目標値

生涯を通じて	歯や口腔の健康を保ち、「食べる楽しみ」「すてきな笑顔」「楽しい会話」でいきいきと過ごす
行動目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>○歯磨き習慣やよく噛む習慣を定着させる</li> <li>○定期的に歯科健診を受ける</li> <li>○健診・教室などの事業を通して、歯の健康意識を高める</li> </ul>

### 令和4年度 燕市歯科保健計画 重点的取り組み(事業)の実施状況・評価票

#### 【生涯を通じて】

<b>重点的取り組み</b>	つばめ元気ががやきポイント事業の啓発とともに歯の健康づくりに取り組む		
<b>該当する事業</b>	①つばめ元気ががやきポイント事業 ②歯っぴーフェア		
<b>担当課</b>	健康づくり課	<b>関係機関</b>	燕歯科医師会・元気ががやきポイント事業協賛企業 保健推進委員・食生活改善推進委員・元気磨きたい
<b>実施状況</b>	<b>内容</b>	①元気ががやきポイント手帳において、歯に関する項目の設定 1Pメニュー「毎食後の歯磨き」 5Pメニュー「歯科健診」「歯っぴーフェア」 ②口腔環境を通しての健康増進のイベント「歯っぴーフェア」を燕歯科医師会主催のもと共同開催。2年振りに会場参加形式で開催	
	<b>取組み</b>	①令和2年度より食育活動の一環として「ベジ足し」リーフレットの作成を行い配布している。野菜や乾物を利用したメニューを掲載し、よく噛む習慣づけのきっかけの1つとしている。R4年度は「ベジ足し」第3弾として、燕産野菜を使ったメニューを紹介し、「健康づくりチャレンジ企画」として作った料理写真を投稿してもらっている。 ②オーラルフレイルをテーマとした講演会、口腔に関する児童の図画ポスターの展示、薬剤師会・専門学校・企業によるブースの出展などを通して、市民の口腔と健康への関心を高める。	
	<b>成果と課題</b>	①元気ががやきポイント手帳に継続して取り組むことで意識が高まり、歯の健康行動の定着を図ることにつながっている。「ベジ足し」リーフレットは手軽で美味しく、食感を楽しむこともできると好評で、子供から大人まで多くの方から活用していただくことができている。 ②来場者220名、講演会の参加者100名であった。講演会は保健推進委員の研修会も兼ねて開催され、オーラルフレイル予防について地域へ普及するきっかけとなった。	
<b>今後の取り組みと方向性</b>	<b>継続</b>	保健推進委員・食生活改善推進委員・元気磨きたいが元気ががやきポイント事業に継続して取組み、その成果の発信を強化していく。	